

# まほろば



2012.10  
第134号

## 緩和ケアチームの立ち上げ

2007年に制定されたがん対策基本法をうけて、青森県がん対策推進計画の全体目標の中で重点的に取り組む課題としてがん治療の初期段階からの緩和ケアの実施がいわれています。

当院ではがんという病気と向き合い、さまざまにつらさを抱えながら治療を受けている患者・家族が多くあります。そのため、当院においても早期からの緩和ケアが必用と考えています。

今年度、緩和ケア認定医、緩和ケア認定看護師の資

格取得を契機として、10月から緩和ケアチームを立ち上げ、入院・外来患者への介入を行っていくことが決定しました。緩和ケアチームでは、痛みや吐き気などさまざまな身体症状、こころのつらさをケアしていく、患者・家族がその人らしく人生を過ごしていくようにお手伝いしていきたいと考えています。各病棟・外来スタッフとともに一人でも多くの患者・家族のつらさが緩和されるよう、精一杯頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

緩和ケア認定看護師：佐井 菜央美



緩和ケアチーム立ち上げに向けた勉強会  
「緩和ケア」ってなあに？  
平成24年9月7日開催

## 院内感染対策合同カンファレンス

9月7日（金）に、当院で『第2回院内感染対策に関する合同カンファレンス』を開催しました。これは、今年度の診療報酬改訂により、「医療機関は、院内感染対策の防止のため、他の医療機関と合同で少なくとも年4回程度、院内感染対策に関するカンファレンスを行うこと」が新たに設けられたことによります。そこで、当院は弘前市立病院、弘前記念病院と合同カンファレンスを行うことになりました。

カンファレンスでは、各医療機関で検出されている感染症データ（微生物発生状況）や、それぞれが抱えている課題について話し合い、情報を共有しました。第3回は弘前市立病院、第4回は弘前記念病院へ赴いて、実際の感染対策状況を見ながら意見交換をする予定になっています。

この合同カンファレンスを通して、地域の医療機関が連携して、より一層、感染対策の質を向上させることができます。

感染管理看護師：大谷 直美



# “時代”と“次代”－ひろさきFESティバル2012－



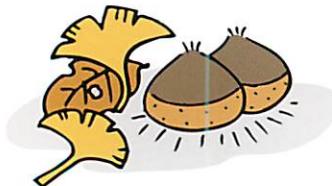
去る9月15日（土）16日（日）の両日、弘前公園等を会場に、昨年弘前城築城400年を記念して行われたイベント「ひろさきFESティバル」が、今年も煌びやかに開催されました。

15日、9月とは思えないほど暑い日差しの中、土手町通りを会場に行われた歴史と文化の大パレード「弘前“JIDAI”街道行列」では、華やかな帷子を着た子供達による稚児行列、雄壮な武者姿の騎馬行列、たか丸くんを始めとするゆるキャラのパレード、津軽各地の伝統的な祭の合同運行等、約900人が参加しました。

## 看護学校スポーツ大会

9月27日（木）に青森県武道館で平成24年度スポーツ大会が実施されました。スポーツ大会は心身ともにリフレッシュしたり、クラス間の団結力を高める目的で毎年行われています。1年生から3年生まで全学年が集まり、バレー、バスケット、卓球やバドミントンなどの競技を一緒に行うことで、学生同士の交流や、教員との交流を深めることができました。また、スポーツをする時の楽しそうな表情や活動的な姿など、友人の新たな一面をお互いに発見することが出来てよい思い出になりました。

スポーツ大会実行委員：工藤長清・小笠原沙紀



16日には、弘前公園内特設会場において、昨年も大好評だった流鏑馬の国際大会が開催され、アメリカ・ドイツ等計7カ国の中の射手が参加しました。また、国の重要無形文化財にも指定されている福島県相馬市の「相馬野馬追」の見所である「神旗争奪戦」も披露され、集まった観客を魅了していました。

“時代”と“次代”を繋ぐまつり、明日へのエネルギーに溢れたイベントでした。

地域医療連携係：工藤 真淑



# 患者サポートカンファレンス



平成24年度は診療報酬・介護報酬の同時改定の年でした。患者サポート体制充実加算が新設され、患者さんや家族からの相談に、幅広く対応できる体制を整えている医療機関を評価し、医療従事者と患者さんの円滑なコミュニケーションを図るのが目的です。当院でも算定できる体制を整え、患者さんまたはその家族からの疾病に関する医学的な質問、並びに生活上及び入院上の不安等、相談に応じ患者さんが安心して生活できるようにサポートしております。

その時々の問題、相談内容に応じてカンファレンスを開催しています。今年は、10月から緩和ケアチームを立ち上げましたが、今後ますます相談内容も増えることが予想されます。

地域医療連携室での、医療相談は看護師 医療ソーシャルワーカーが3人体制で常に対応できるようにし

ております。内容によっては必要時、専門分野（医師、薬剤部、理療部、栄養部など）への連携もしながら相談に応じてまいります。今後は高齢化がますます増大する中で、在宅での生活する為の在宅医療、訪問診療、日常生活支援に従事する職種・機関が連携する包括的なサービスを提供する仕組みが重要になります。

これからも患者さんや御家族のお話を伺い一緒に考えながら解決に向けてお手伝いさせていただきます。

地域医療連携係長：小山 あつ子



## 診療情報管理室から ~DPC病院に移行して~

当院の診療情報管理室は、4月に2名の診療情報管理士を迎えて3名体制となりました。4月からDPC対象病院となり、DPC制度に対応する新たな体制でのスタートです。

DPC対象病院は、医療費の請求方法がこれまでの出来高算定から包括算定となります。対象病院には、診療記録（診療情報）を適切に保管管理する体制と退院患者調査への適切なデータの提出が義務付けられています。そのため私たち診療情報管理士は医師・医療スタッフが記載した診療記録・診療情報を読み取り、適切な保険請求が行われるように傷病名の確認業務を行っています。

また、診療録を患者さんごとに適切に管理し、そこに含まれるデータを加工、分析し現場にフィードバックすることにより経営管理・医療安全管理・医療の質向上に寄与する役目も担っています。

DPC対象病院となり半年が経過しましたが、これからもDPC業務と併せて、病院にとって、患者さんにとって大切な診療録を価値あるものとするために、努力してまいります。

診療録の向こうに患者さんを感じ、診療記録・情報の管理を行いたいと思います。

主任診療情報管理士：斎藤 文子



# 外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2012年10月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
		下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
消化器・血液内科		間山恒	—	—	間山恒	間山恒
		松木明彦	五十嵐崇徳	五十嵐崇徳	—	五十嵐崇徳
		佐藤年信	—	佐藤年信	松木明彦	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	—	石黒陽	石黒陽
小児科		三上珠希	野村由美子	杉本和彦	野村由美子	野村由美子
		杉本和彦	佐藤工	三上珠希	佐藤工	杉本和彦
		伊東竜也	千葉友揮	—	千葉友揮	伊東竜也
外科		田澤俊幸	高橋克郎	田澤俊幸	高橋克郎	三上勝也
乳腺外来		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	—	小田桐弘毅
整形外科	午前	柿崎寛	柿崎寛	秋元博之	秋元博之	柿崎寛
		黒瀬理恵	黒瀬理恵	黒瀬理恵	間庭敬一郎	八重垣誠
		八重垣誠	千葉紀之	八重垣誠	—	秋元博之
脳神経外科	午後	—	—	—	—	柿崎寛
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	●予約	●手術／検査	●予約	●手術／検査	●予約
泌尿器科	午前	神村典孝	神村典孝	神村典孝	神村典孝	神村典孝
産婦人科		木村秀崇	尾崎浩士	鈴木洋一郎	●妊婦健診	尾崎浩士
		小林麻美	鈴木洋一郎	木村秀崇	(一般外来休診)	小林麻美
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子	黒田令子	●手術	黒田令子	黒田令子
		二井一則	二井一則	(一般外来休診)	二井一則	二井一則
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制／第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

## 今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

イネの穂を ゆらして風が 姿みせ

(パール)

大正生れ 介護から学ぶ 親の恩

(弘子)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

### 患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

### お知らせ

#### 編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘また、お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital  
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 柿崎 寛

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地  
TEL 0172-32-4311  
FAX 0172-33-8614

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>